

評価・改善に役立つ KPT 法の進め方

1 KPT とは？

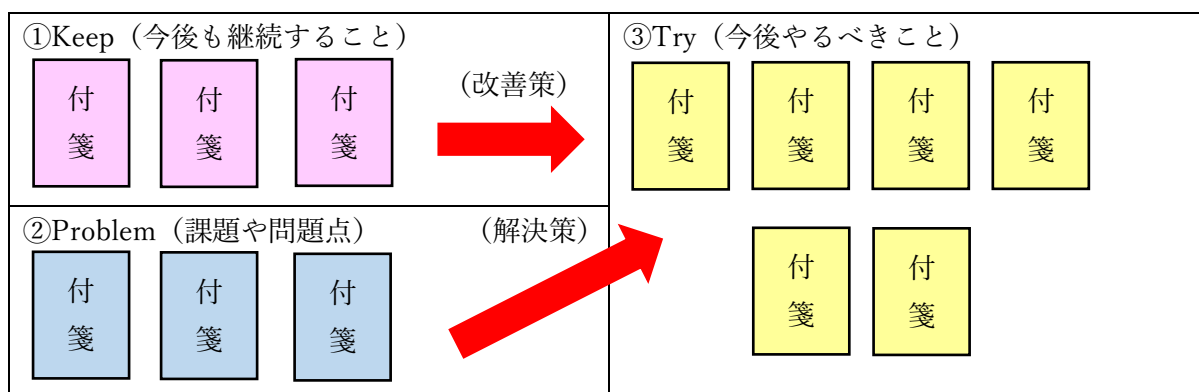
○Keep：今後も継続すること ○Problem：課題や問題点 ○Try：今後やるべきこと
それぞれの頭文字をとった名称です。

2 KPT 法を実践してみよう！

教育活動の先にある「ゴール」の設定と、教職員間での共有が図れます。やってみると、意外と楽しいですよ♪

(用意するもの)

- ・模造紙又はポスター等の裏面
- ・付箋紙
- ・筆記用具



(KPT 法の流れ)

- ①各学校において地域連携活動が上手くいっている点 (Keep) を付箋紙に書き出し、簡単に意見交換しながら、貼り出します。
- ②各学校での地域連携活動の課題や問題点 (Problem) を付箋紙に書き出し、簡単に意見交換しながら、貼り出します。
- ③Keep (今後も継続すること) と Problem (課題や問題) をもとに、そこから思いつくアイデアを付箋紙に書き出し、簡単に意見交換しながら貼り出します。
- ④Try (今後やるべきこと) のアイデアに優先順位をつけ、誰がいつまでにやるか話し合います。
→ 次年度の計画に反映させます。

